



6/28 Hirado City Photo News
市町との更なる連携を



V・ファーレン長崎の高田春奈代表取締役社長や徳重健太選手、五月田星矢選手ら7人とチームのマスコットキャラクターのヴィヴィくんが市長室を訪れ、今年度の市町との連携について黒田市長に報告しました。

報告後、徳重選手、五月田選手とヴィヴィくんは市役所内を回り、来庁者や職員などと記念撮影する姿が見られました。

8月3日(火)には、ライフカントリーでエリートリーグが開催されます。

6/22 Hirado City Photo News
工事の安全を願って



田平町古梶免の平戸市工業団地に立地が決定したKTX(株)長崎平戸ラボラトリーズ新築工事の地鎮祭が行われ、黒田市長やKTX(株)野田太一代表取締役社長ら関係者23人が工事の安全を祈りました。

地鎮祭にあたり、野田社長は「平戸に進出するという実感が湧いた。この工場から驚くような事業を展開していきたい」と話しました。

工場は、今年12月末に完成予定で、すでに工場で働く社員の雇用も始まり、本社がある愛知県で研修が行われています。

6/28 Hirado City Photo News
高齢者の生活を見守る



未来創造館において、明治安田生命保険相互会社長崎支社ならびに株式会社ミルクボーイとの「高齢者見守りに関する協定」締結式が行われました。この協定は、保険や牛乳配達の見守り員が、高齢者の生活の安全を見守ることを目的としています。

株式会社ミルクボーイの奥平昭夫代表取締役は「高齢者の見守りは、現代において最も必要な助け合いの活動であると感じます。先端技術のAIが重宝される世の中ではありますが、アナログの『人』を大切にしたい」と挨拶しました。

6/28 Hirado City Photo News
九州大会での活躍を誓って



平戸鬼洋蝶少年野球クラブが、5月に開催された「高円宮賜杯 第41回全日本学童軟式野球大会マクドナルド・トーナメント長崎県大会」において第3位となり、7月31日から鹿児島県日置市で開催される「第34回九州学童軟式野球大会」に長崎県代表として出場するにあたり、平戸市役所を訪れ大会に向けての抱負を市長に報告しました。

市長から「野球はチームで戦うスポーツで、逞しい精神を養っている皆さんの活躍に期待しています」と激励の言葉が贈られました。

高齢者叙勲ならびに各種表彰者

高齢者叙勲



元田平町議会議員
橋口 宗則さん
(田平町)

「身に余る章をいただき光栄です。これも皆様のご指導ご支援のおかげです。感謝いたします」

昭和58年に田平町議会議員に当選以来、通算4期16年の永きにわたり在職。その間、田平町文教厚生常任委員会正副委員長、総務常任委員会正副委員長などを歴任し、町行政の飛躍・発展と田平町の地域振興に貢献されました。

その他、交通安全協会理事や田平町体育協会副会長を務めるなど、田平町の発展に寄与されました。



2021年インターナショナルワインチャレンジ SILVERメダル

純米大吟醸の部 福田 純米大吟醸 幸 山田錦
大吟醸の部 長崎美人 大吟醸

令和2年酒造年度全国新酒鑑評会 金賞 長崎美人 大吟醸

令和3年度「第63回水道週間」平戸市作品コンクール

最優秀賞受賞者

- 習字の部 低学年 本山 いのりさん(中野小3年)
高学年 宮崎 あいさん(志々伎小6年)
- 図画の部 低学年 白石 陽葵さん(大島小3年)
高学年 中尾 文香さん(大島小5年)
- 標語の部 低学年 重富 晴仁さん(田平北小2年)
高学年 田中 歓汰さん(志々伎小4年)

学校特別賞

田助小学校、志々伎小学校

このコンクールは毎年開催されており、今年は各小学校から「習字、図画・ポスター、標語」の3部を「低学年・高学年」に分け募集しました。出品された718点の中から、最優秀1点、優秀2点、佳作3点計36点が入選し、7月14日に平戸市社会福祉センターにおいて表彰されました。



習字の部入賞者



図画の部入賞者



標語の部入賞者



7/6 Hirado City Photo News
戦没者の遺徳を偲んで



平戸文化センターにおいて、令和3年度平戸市戦没者追悼式が行われ、コロナ禍で規模を縮小しての開催でしたが、遺族や来賓など約80人が参列しました。

式典では遺族を代表して、田中浩さん、市瀬ハツエさんをご霊前に献花を行ったほか、平戸市連合遺族会の太田正喜会長が追悼の言葉を述べました。参列された皆さんは、祖国のために尊い犠牲となった2,500人余りの平戸市出身戦没者の遺徳を偲ぶとともに、平和への思いを新たにしました。

7/5 Hirado City Photo News
安心安全な社会を目指して



7月に展開される「社会を明るくする運動」にともない、総理大臣メッセージが市長室に届けられました。

この運動は、犯罪や非行の防止とあやまちを犯した人たちの更生について理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、犯罪や非行のない安全で安心な地域社会を築くことを目的として、全国で取り組まれています。

当日は平戸・松浦地区保護司会平戸分区の藤井徹会長がメッセージを代読し市長に手渡しました。

6/30 Hirado City Photo News
犯罪被害者を支えるために



平戸市役所において、「犯罪被害者等支援の連携協力に関する協定書」調印式が行われました。

平戸市では今年4月に「平戸市犯罪被害者等支援条例」を制定しており、犯罪被害者などが受けた被害の早期回復および軽減並びに犯罪被害者などの生活再建を図るための支援を進める事としています。

協定書に調印した野口博文平戸警察署長は「犯罪で平穏な日常を奪われた被害者の苦しみを少しでも和らげ、一刻も早く平穏な日常を取り戻せるよう支援したい」と挨拶しました。

6/29 Hirado City Photo News
九州電力の仕事学ぶ



度島地区まちづくり運営協議会主催の「九州電力平戸営業所出前講座」が度島小・中学校で行われ、中学生向けに「当社の仕事と人間力」というテーマで、九州電力の仕事内容、入社するために必要な知識や資格などについて説明されました。講師の山田恭平さんは「将来、何をしたいか考えて、一歩踏み出してほしい」と生徒を激励しました。

また小学生向けには、電気の仕組みについて実験を交えた説明があり、児童たちは興味津々で覗き込んでいました。

7/10 Hirado City Photo News
カップの言い伝えを後世に



田平町内に残るカップについての言い伝えの伝承や子どもたちの健全育成などを目的に、「第34回がわっぱ祭」が行われました。午前中は、平川橋でカップを供養した後、田平町民センターで子ども向けイベントを実施。参加した子どもたちは、竹の水鉄砲や巨大しゃぼん玉、平成29年度に田平北小学校の生徒が制作したカップの紙芝居を楽しみました。

午後からは、生月町博物館島の館の中園成生学芸員による講演会「カップとは何か？」が開かれ、平戸市内に伝わるがわっぱの言い伝えや謎に迫りました。

7/6 Hirado City Photo News
税金のことを身近に



平戸市法人会主催の租税教室が、田助小学校にて行われ、有限会社寺山文書堂の寺山康子さんが税金について児童に説明しました。

授業では、日本における税金の種類や使われ方、海外との比較のほか、ビデオ教材で税金がある世界とない世界の違いが説明され、公共施設や治安が税金によって維持されていることが伝えられました。

児童からは「税金がなければ救急車も高くって呼べなくなるということがわかった」など、税金が身近にあることを実感する感想が寄せられました。

7/4 Hirado City Photo News
マトラ神父に思いを馳せて



木場町田崎地区のマトラ神父の墓地において、「マトラ神父帰天100年祭」が行われました。

マトラ神父は、フランス出身で明治中期から大正期にかけて平戸島中部を拠点に布教活動を行い、紐差・田平などで教会・修道院の建設・設立に奔走。40年間、1度も帰国することなく、1921年に生涯を閉じました。

式典には、高見三明・長崎大司教や地域の信徒ら約100人が出席。高見大司教が墓前に花を添え、「マトラの鐘」を鳴らし神父の功績を偲びました。

7/2 Hirado City Photo News
災害時の迅速な復旧を図るため



平戸市役所において、一般社団法人水産土木建設技術センターとの「漁港等の施設の災害復旧支援に関する協定」締結式が行われました。この協定は、漁港などの施設が自然災害に見舞われた際に迅速な復旧を図ることを目的としています。

同センターの吉塚靖浩理事長は「近年、台風が大型化し、漁港などの施設が壊れる可能性がある。当センターには東日本大震災時に活動したノウハウもあるので、災害が発生した際にはお役に立てると思う」と挨拶しました。